



# 信州の工芸を未来に

2015年1月17日(土) 開会10:30~

長野県松本文化会館(キッセイ文化ホール)国際会議室  
定員:200名(無料)

開会	10:30
報告	10:45~12:00
<b>工芸の多様性</b> 上田友彦(長野県中小企業団体中央会伝統工芸品コーディネータ)	
<b>地域資源を活用した工芸デザイン</b> 五味英紀(長野県地域資源製品開発支援センター)	
記念対談	13:15~14:45
<b>伝統工芸を未来に</b> 須田賢司(木工芸家・人間国宝・日本工芸会正会員) 谷進一郎(木工芸家・国画会会員・信州木工会元会長)	
パネルディスカッション	15:00~17:00
<b>信州の工芸・クラフトの可能性</b> コーディネータ/石川利江(ISHIKAWA地域文化企画室代表) パネリスト/太田洋志(一般財団法人塩尻・木曾地域地場産振興センター業務課長) 倉澤聡(NPO法人松本クラフト推進協会事務局長) 前田大作(アトリエ・エムフォオ(株)代表取締役) 堀内雅博(公益社団法人日本クラフトデザイン協会監事)	
総括	17:00~17:20
<b>これからの信州の工芸・クラフト</b>	
閉会	17:20
交流会 会場/レストラン「パウゼ」(長野県松本文化会館内) 会費制(要申し込み、4,000円)	17:30~

信州には、美しい自然景観、豊かな天然資源と、地域の伝統や文化から育まれた、多くの伝統的工芸品や地場産業製品があります。そして、これらを背景として農民美術運動や民芸運動、さらにクラフト的な動きが活発になってきており、信州各地に工房・アトリエを開いて活動しています。信州に集積しているこういった工芸・クラフトをさらに深化させ、活性化していくことを目指して、「信州の工芸フェア」—シンポジウム、信州の手しごと博覧会—を開催することとなりました。

信州の工芸は、伝統的工芸品産地や多くのクラフト工房が全県に広がっており、その多様性と幅の広さは大きな魅力になっています。しかし、未来を考えると、技術の伝承、人材の育成、使い手の意識変化への対応、新しい流通スタイルへの対応など多くの課題があります。

今回は、信州の工芸・クラフトにかかわる多くの人たちとの交流と、未来に向けた連携を図っていく契機として、シンポジウム「信州の工芸を未来に」を企画いたしました。つきましては、多くの方々のご参加をいただきたく、ご案内いたします。

主催◎長野県、長野県中小企業団体中央会 共催◎長野県伝統工芸品産業振興協議会

後援◎松本市、長野市、塩尻市、信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、毎日新聞松本支局、産経新聞長野支局、日刊工業新聞長野支局、時事通信社松本支局、長野建設新聞、市民タイムス、週刊長野新聞社、松本経済新聞、NHK長野放送局・松本支局、SBC信越放送、abn長野朝日放送、TSBテレビ信州、NBS長野放送、テレビ松本ケーブルテレビジョン、株式会社まちなみカントリープレス、NPO法人松本クラフト推進協会、信州木工会、長野県工芸会、公益財団法人長野県中小企業振興センター、信州大学地域共同研究センター、信州大学地域戦略センター、松本大学、松本大学松商短期大学部、長野県デザイン振興協会木の文化と環境フォーラム、岡学園トータルデザインアカデミー、木曾漆器工業協同組合、長野県織物工業組合、飯山仏壇事業協同組合、松本家具工芸協同組合、内山紙協同組合、南木曾ろくろ工芸協同組合、信州打刃物工業協同組合、木曾木工協同組合、長野県農民美術連合会、木曾木材工業協同組合、軽井沢彫家具組合、長野県あけび蔓工芸組合、木祖村お六櫛組合、秋山木工生産組合、須賀川竹細工振興会、飯田水引協同組合、蘭桧笠生産協同組合、長野県手描友禅染匠組合、奈良井曲物組合、桐下駄

企画運営◎信州の工芸フェア実行委員会

事務局(問合せ先)◎長野県中小企業団体中央会連携支援部開発課 TEL 026-228-1171 FAX 026-228-1184 <http://www.alps.or.jp/>

# 伝統工芸を未来に



須田賢司 氏

木工芸家  
人間国宝  
日本工芸会正会員

昭和29年東京生まれ。現在、群馬県甘楽町国峰に工房を構える。父の代から続く指物師の家に生まれる。日本伝統工芸展などで受賞を重ね、2010年には紫綬褒章を受章。2014年、人間国宝(重要無形文化財保持者)に指定される。カエデや桑などの木目の美しさを生かし、板を組み合わせる家具や箱を作る指物(さしもの)技法で独自の作風を確立している。父親の影響もあり、洗練された都市市民の美意識に裏付けられた文人的価値観である「清雅」(pure and refined elegance)を制作のモットーにしている。完成度の高い作品を目指し、作品のポイントとなる金具類を始め、漆仕上げまでほとんどすべて自分ひとりで制作している。



楓拭漆小箆箱「碑林玄英」2013

予 告

## 信州の手しごと博覧会

THE CRAFT FAIR OF SHINSHU

～日々の暮らしを紡ぐ～

会期 2015年2月13日(金)～2月18日(水)

10:00～19:00(最終日は17:00終了)

会場 ながの東急百貨店新館シェルシェ5F

長野市南千歳1-1-1 TEL:026-226-8181

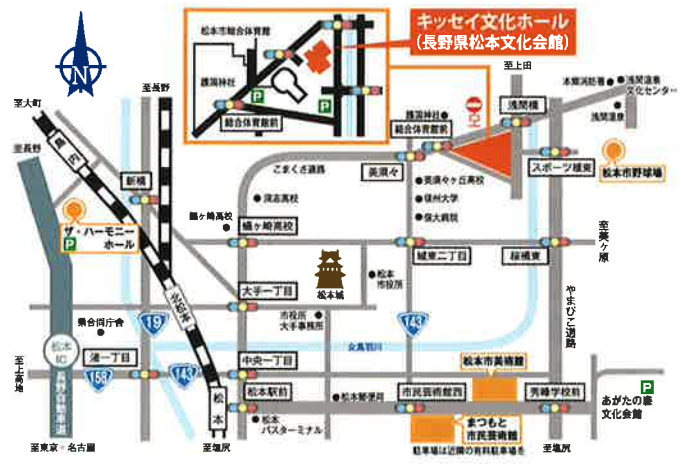
出展 信州の伝統的工芸品、クラフト・地場産業の製品などの手仕事作品

信州の伝統工芸

木曾漆器・南木曾ろくろ・信州紬・内山紙・松本家具・飯山仏壇  
信州打刃物・農民美術・信州草木染友禅・須賀川竹細工・軽井沢彫  
木曾材木工芸・信州からまつ家具・松代焼・栄村つぐら

信州のクラフト

家具・木工・漆・染織・陶器・ガラス・石工・金工他40名以上参加



長野県松本文化会館(キッセイ文化ホール) 国際会議室  
松本市水汲 69-2 TEL 0263-34-7100

## 信州の工芸フェア シンポジウム参加申込書(1/17)

出席者氏名	
所属・役職	
連絡先	電話 FAX 電子メール
出席参加の内訳 ご出席する項目に○印を付けてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告／記念対談／パネルディスカッション</li> <li>・ 交流会(懇親会 会費4,000円)</li> </ul>